

＜運動方針の策定にあたって＞

運動方針の策定にあたっては、トッパン・フォームズ フレンドシップ ユニオン（以下、フォームズユニオン）の歴史上、長い年月の中で2年間を一つの節目として確立してきた。この2年間での節目は、世の中における多くの労働組合が適用しており、新たな方針のもと1年が経過する中で問題・課題を抽出し不足部分の補強を行い、2年目で運動方針の完遂を目指すものである。

一方、企業の状況を見てみると、2023年10月のTOPPANグループにおける「持株会社体制（TOPPAN HD化）」を背景に、先んじて2023年4月には新会社「TOPPANエッジ（旧トッパンフォームズ）」が事業統合とともに設立された。また、2024年4月には、TOPPANエッジに関する製造会社5社と（株）トッパンコミュニケーションズとの企業統合がなされるなど、労働組合形成の基礎となる企業の変化を含め、我々フォームズユニオンを取り巻く環境は激変している。そして、その影響は、我々フォームズユニオンにおいても大きなものとなっている。

この様に、過去に経験したことの無い企業の変化に対し、我々労働組合は、どの様な考え方のもと、どの様な対応が必要であるのか、大きな課題を克服すべく運動方針の策定についても一考を要する必要性があると判断した。その様な考え方のもと、新たな運動方針については、目まぐるしく変化する環境を考慮し1年一区切りを基本に、この大きな変革期に対し新たな体制と柔軟な対応で臨んでいく。

そして、将来に亘り従業員が「安心して働き、安心して生活できる環境の実現」を確実なものにしていく。